

都民ファースト・無所属の会

区民に寄り添い誰一人取り残さない足立区に向けて



都ファ・無所属 佐藤 あい 議員

「ネット出席」制度の活用促進へ

④最後に、子どもの安全に対する区の体質そのものが問われている問題とし、抜本的な見直しに踏み出す考えはあるのか伺う。

【地域】①捜査に支障が出ないよう、区から発信は控えていた。

②指摘のとおり受け止めており、早期に情報発信すべきであった。

③事実関係については、被害者の意向を最優先にしつつ、被害者から承諾された範囲の情報を区ホームページで公表する。

安全対策の現状や改善の方向性については、実態調査や相談窓口設置に向けた準備が整い次第、区ホームページで公表する。

④同様の事案が二度と繰り返されないよう、区として必要な対策を講じ、情報発信していかねばならないと考えている。

【問】共働き家庭の「小一の壁」問題解消に向けて、学校の開門時間を早め、用務員等による児童の見守りが検討されている。外部人材の任用については、審査基準を統一し、子ども性暴力防止法の趣旨を先取りする方針があるのか、区の見解を伺う。

【教育指導】制度の指針となるガイドラインが示され次第、子どもの心身を守る規定を整備する等、安全基準の統一を進める。



足立区議会議会改革を全力で推し進める会

分離は差別！共に学び共に育つインクルーシブ教育を



議会改革推進 土屋 のりこ 議員

区は表現・言論の自由の保障を

【問】区民が公道で行ったイベントの宣伝活動を梅田地域学習センターの統括責任者等が感情論で妨害する出来事があった。これは区民の「やりたいことを叶える」区の姿勢では全くないが、区長の見解はどうか。

【区長】「やりたいことが叶うまち」の実現に向け、区民の「やりたい」に寄り添い、活動を支援する立場は変わらない。

今回の梅田地域学習センターの対応は不適切であったため、心からお詫びすると共に、多様な区民の活動を推進していく。

【今】必要な介護事業所支援策を

【問】介護事業所の支援について、品川区や世田谷区と同様に、足立区でも区独自の支援が必要と考える。効率的な運営への支援や人材確保策に加え、広くいきたる形の支援を行うべきと考えるがどうか。

【高齢者】効率的な運営への支援については、令和7年11月からケアプランデータ連携システム活用促進事業を開始し、介護事業所の負担軽減等につなげていきたいと考えている。人材確保策については、令和7年4月に開始した足立区福祉サービス事業所職員家賃支援事業に関して、11月に関係者へアンケートを実施した。調査結果を踏まえ

て区独自の支援策を検討すると共に、国の令和8年度臨時報酬改定の動向も注視していく。

【問】障害のある子どもとその保護者が就学の検討を始める時期に、学区域の学校へ行く選択肢が基本というものの周知徹底を求めるがどうか。

【学校運営】これまでは周知が徹底できていなかったため、新入生向けに配布している「足立区の学校選択制度」のリーフレットの中で、学区域の学校へ行く選択肢があることも明記し、しっかりと周知していく。

【問】スマートフォンに頼らない遊び場づくりとして、ティピートントでの絵本の読み聞かせや大型絵本コーナーを普段の図書館と違う場所で行ってはどうか。

【子ども】令和8年度の夏の遊び場確保事業実施の際は、子どもたちが本に触れ合える機会を区立図書館以外でも創出できるように検討していく。



無 会 派

民泊施設に立ち入り調査し区民の皆様の不安払拭を！



無 会 派 野 沢 てつや 議員

民泊施設周辺住民の不安解消を

【問】区内には現在213の民泊施設があり、報告書の確認は2か月に一度行われるのみで、実地調査はされていない。区民の不安を受け、法令に基づき立ち入り調査を実施し、厳格な監視体制を構築すべきではないか。

【衛生】現状を確認する必要があると考えているため、令和8年度から立ち入り調査を実施できるよう、準備を進めている。

みんなのために日本語学級を

【問】近年、日本語を話せない外国籍児童・生徒の公立学校への転入等が増加している。当該児童・生徒だけでなく、教員や日本人の児童・生徒にとっても負担が大きいため、日本語の指導を集中的に行う「日本語学級」の設置を検討すべきではないか。



【子ども】令和8年度の夏の遊び場確保事業実施の際は、子どもたちが本に触れ合える機会を区立図書館以外でも創出できるように検討していく。

にに向けて、準備を進めていく。

【問】区は、令和7年9月から認可保育所等で0歳から2歳児の第一子保育料を完全無償化した。大変ありがたい事業であるが、0歳児一人当たりの保育経費が年間約610万円に達する中で、税金の使い道を可視化し、無償化事業に必要な公費の内訳を分かりやすく示すべきではないか。

【子ども】「保育施設利用申込案内」では、年齢別の経費概算と区の負担割合を示している。今後は、子育て世帯以外に対しても負担額の内訳等を分かりやすく可視化することが重要だと考えているため、ホームページやあだち広報等の媒体を活用し、広く理解促進に努めていく。

【問】西新井駅東口駅前広場について、凸凹した路面の補修や植栽や看板等の配置見直しを行い、ギャラクシティを有する駅として、魅力的な駅前広場に改善すべきではないか。

【道路公園】令和8年度に着手予定のバス停移設工事に合わせ、駅前広場の路面舗装を全面補修し、低・中木植栽やベンチ、看板等の配置を見直す検討を進めている。誰もが通行しやすい導線を確保し、西新井駅東口の魅力向上に向けて取り組んでいく。

【教育指導】令和8年度は、まず中学生を対象に日本語学習ルームを1室増室し、指導体制を強化していく。先行事例の視察と研究を重ね、日本語指導を重点的に行う「日本語学級」の開設